

<B1 個に応じる学習> お小遣い帳を使用してお金の使い方を学ぶ活動

生活単元学習・中学校3年 知的障害特別支援学級・おこづかいの使い方を考えよう
ねらい：お金の使い方を考え、金銭感覚を身に付けることができる。

- ① 買い物の経験の想起
 - ・これまでの買い物の経験について話し合う。
 - ② レジでの支払いの練習
 - ・模擬貨幣を使って買い物の練習をする。おつりの金額を確認する。
 - ③ 家庭でのお小遣いのルール等の話合い
 - ・お小遣い制の期間や金額、ルール等を家庭で相談して決める。
 - ④ お小遣い帳への入力
 - ・タブレットPCのお小遣い帳に収入、支出等を家庭又は学校で入力する。
 - ⑤ 収支の振り返り
 - ・お小遣いをいくらもらったかや、何にいくら使ったかをグラフ表示にして収支を振り返り、お金の適切な使い方を考える。
- ※ 本人・保護者のニーズ、家庭状況に応じて進める。お小遣いの管理を通して、親子でお金について話をする機会をもってもらうなど家庭と連携して取り組む。



期待される効果

収入と支出、支出の内訳を色、グラフで視覚化することで、お金を何にいくら使ったかが分かりやすく、把握しやすい。金銭感覚が身に付き、将来にも役立つスキルになる。



使用する機能：データを記録・保存

使用アプリ例：簡単！こづかい帳 等